

「新たな村政運営のチャレンジについて」

令和6年2月24日
東海村長 山田 修

1 東海村第6次総合計画の現状

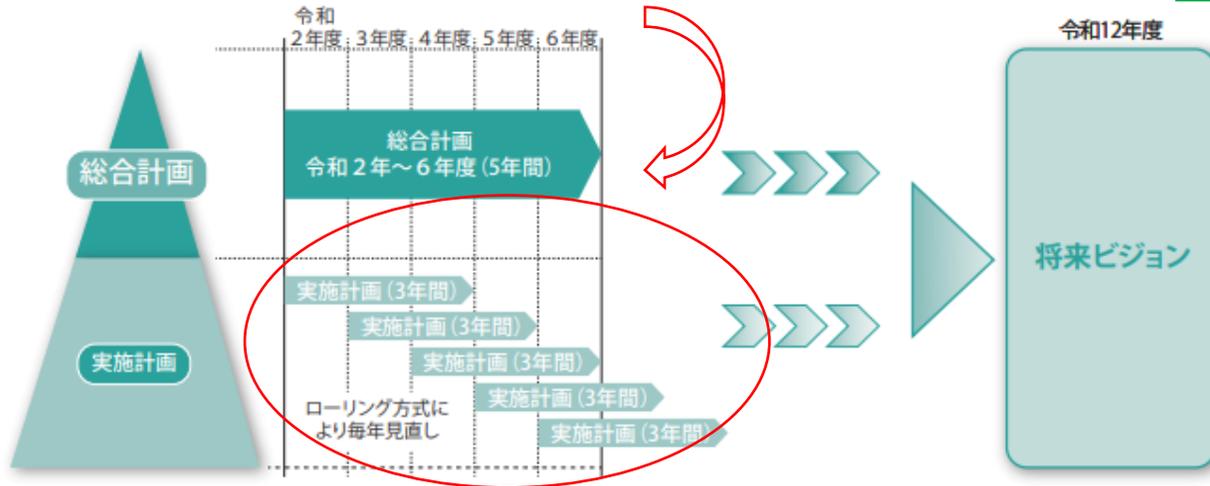
(2) 計画の期間

■総合計画

令和2年度(2020年度)から令和6年度(2024年度)までの5年間とします。

■実施計画

3年間とし、毎年、ローリング方式で見直しを行います。



※3 アクションプラン/総合計画の着実な推進を図り、計画的に事業を行っていくための実行計画。

運用

取組の柱
(以下、政策・施策が紐づく)

体系



【見直しのポイント】 指標設定をしていないこともあり、数値での進捗管理には劣するところがある。また、**実施計画のローリング**方式による見直しは、他自治体でも取り入れているものではあるが、時代のニーズが加速する中、どうしても、**実態に合わない**こともあり、策定に「後付け感」が発生してしまう時もある。さらに、アンケート等は次の計画策定時のみに留まっている。

2 策定における新たな発想と展開

(1) ミッション・ビジョン・バリューの考え方を取り入れる

(2) 簡素でわかりやすく、「柔軟」な計画とする

(3) 指標の設定と広聴等を強化する

(4) 総合計画の的確な運用を目指す

- ミッション（村が果たすべき使命・目的）、ビジョン（村が組織として実現したい未来・将来像中期的な目標）、バリュー（住民・企業・行政等が持つ行動基準 思考や行動の指針）を明確に示し、村民とビジョンを共有。経営層が中心となって議論していく。
- また、指標の設定と広聴等の強化により村民ニーズに柔軟に対応し、形骸化を防ぐ。
- そして、的確な運用により、進捗管理をしっかりと行うことで、達成度を明確にする。

3 次期総合計画の体系のイメージ

1 Mission ミッション
(村が果たすべき使命・目的)

2 Vision ビジョン
(村が組織として実現したい未来・将来像中期的な目標)

紐づくもの

3 ビジョンに紐づく計画
(実施計画又は実施計画にかわるもの)

4 Value バリュー
(住民・企業・行政等が持つ行動基準・思考や行動の指針)

2・3 ビジョンを変えていくことで、中期的に目指す姿は変化する。

1・4 総合計画が改められても改変されない（改変されにくい）もの

注) 指標 (KGI, KPI) の適切な設定。

注) 1・2は計画に書込む。4については検討。3は計画本体には含めない。

1～4 をもって総合計画（名称も考慮する点）とする。